

## 長浜市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の改定について

本市の公共施設に関する方針等を定めた「長浜市公共施設等総合管理計画」及び「長浜市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画」について、計画期間における中間時点のフォローアップとして見直し作業を進めてきました。

今般、社会経済情勢の変化や関連する計画の変更等を把握し、当初策定時に定めた方針や数値目標の検証と課題整理等を行うとともに、所要の手続きを経て、計画の改定案（最終案）をとりまとめました。

## 1 経過・今後の予定

庁内調整等	市民参画等
平成31年	
3月 行政改革推進本部会議（着手）	3月 地域経営改革会議
	4月 総務教育常任委員会
令和元年	
5月	
～6月 関係課照会（基礎調査）	
7月 関係課ヒアリング	7月 公共施設マネジメント推進委員会
9月 改定案（素案）意見照会	
11月 行政改革推進本部会議（原案）	10月 公共施設マネジメント推進委員会
	11月 総務教育常任委員会
	～12月 パブリックコメント
令和2年	
2月 行政改革推進本部会議（最終案）	1月 <u>公共施設マネジメント推進委員会</u>
	3月 総務教育常任委員会 地域経営改革会議

## 2 パブリックコメントの実施結果

## (1) 意見募集期間

令和元年11月25日（月）から令和元年12月25日（水）まで

## (2) 提出された意見

1件（1人）

(3) 意見の内容（概要）、意見に対する市の考え方及び対応

<p>◆意見の内容（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 個別施設計画改定案（原案）では、今後、長浜城歴史博物館、（仮称）小谷城戦国体験ミュージアム、（仮称）観音文化の里ミュージアムの3館に集約とあるが、浅井歴史民俗資料館はそのどれにも属さない民俗の展示、体験という特徴があり、計画のタイトルにある「未来の長浜市民に、よりよきものを引き継ぐ」という言葉にふさわしい貴重な資料館だと確信できる。</li><li>・ 市の直営から外すことに大変疑問を感じる。</li><li>・ 市内の資料館等に収蔵している民具や貴重な資料を浅井歴史民俗資料館に集約する方法があるのでないかと考える。</li></ul>
<p>◆意見に対する市の考え方</p> <p>現在策定中の長浜市歴史文化基本構想は、地域の文化財は地域で保存活用し、まちづくりに活かす体制を築くことで、確実な伝承につなげることを方針としている。この方針に基づき、現状で12存在する長浜市の博物館・資料館については、直営施設と地域運営施設との区別を明確化し、地域運営施設では、地域の自主性を尊重する運営を進めることとしている。</p> <p>浅井歴史民俗資料館についても、地域運営施設として、地域による自主的な運営を目指し、より有効な施設の活用を図っていきたいと考えている。</p>
<p>◆対応</p> <p>浅井歴史民俗資料館について、地域運営施設としての位置付けが明確となるよう、他の地域運営施設に係る記載内容と合わせるため、個別施設計画改定案（原案）を次のとおり一部修正する（公共施設等総合管理計画は修正なし）。</p> <p>&lt;個別施設計画改定案（原案）修正内容&gt;</p> <p>【博物館・資料館】</p> <p>⑦今後の施設の具体的な方向性（28ページ）※抜粋</p> <p>（修正後）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>浅井歴史民俗資料館</u>、五先賢の館、余呉茶わん祭の館、北淡海・丸子船の館、富田人形会館、東アジア交流ハウス雨森芳洲庵、国友鉄砲の里資料館及び菅浦郷土史料館については、耐用年数が経過した段階で存続について検討します。</li></ul> <p>（修正前）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 五先賢の館、余呉茶わん祭の館、北淡海・丸子船の館、富田人形会館、東アジア交流ハウス雨森芳洲庵、国友鉄砲の里資料館及び菅浦郷土史料館については、耐用年数が経過した段階で存続について検討します。</li></ul>

※パブリックコメント実施結果の公表資料は別紙（資料4）参照